



概要版

令和2年度～令和6年度

第2次 おい町未来創生戦略

“若さ”つなぐ “響き合う” 未来をつかむおい町

令和2年3月 福井県 おおい町

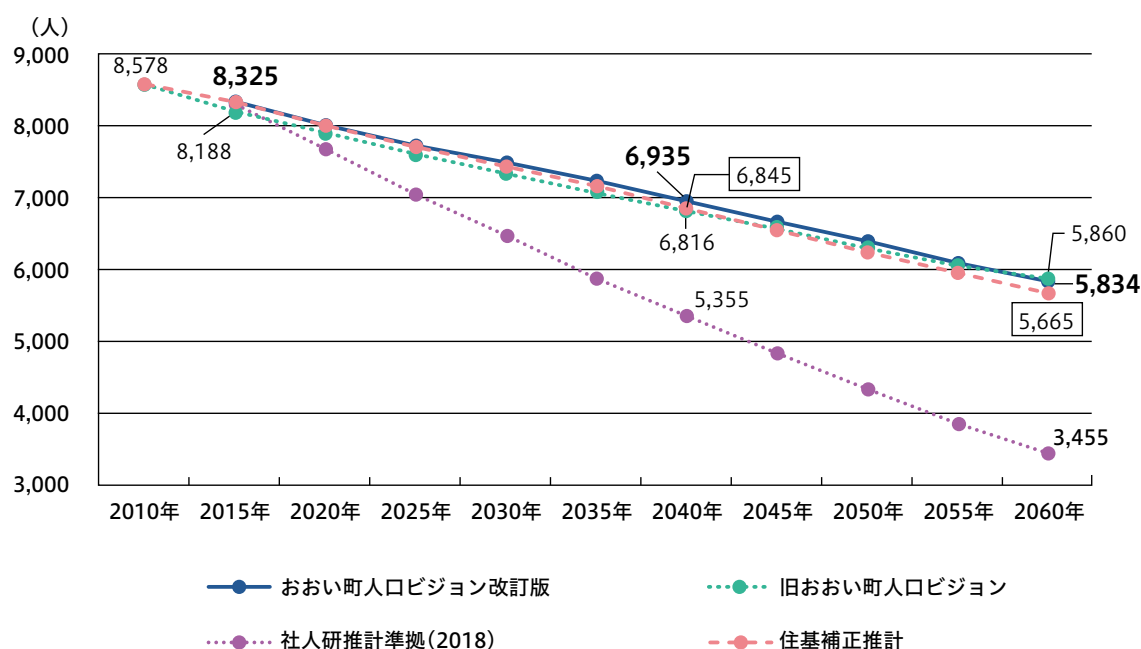


1 おおい町人口ビジョン改訂版について

(1) 見直しの方向

平成27(2015)年の国勢調査における本町の人口は8,325人となっており、平成27(2015)年に策定したおおい町人口ビジョン(以下、「旧おおい町人口ビジョン」)で描いた推計の8,188人を上回っています。その一方、平成30(2018)年に発表された、国立社会保障・人口問題研究所(以下、「社人研」)による推計を踏まえると(社人研推計準拠)、2060年における本町の人口は3,455人となっており、旧人口ビジョンで描いた2060年の人口である5,860人を大きく下回っています。

社人研の推計は、地方創生の取組も含めた直近の傾向が反映されていないことから、社人研の手法に基づいて、出生と移動の仮定を2015年から2020年の推移に合わせて修正した「住基補正推計」を作成しました。また、その推計をベースとしながら旧人口ビジョンを踏まえ、条件設定を見直したものが「おおい町人口ビジョン改訂版」の方向となります。



(2) おおい町人口ビジョン改訂版の条件設定

「おおい町人口ビジョン改訂版」では、2060年における人口を、約5,800人程度に維持することを目指します。そのため、町の活力を向上させると同時に「合計特殊出生率の向上」「転出の抑制・転入の増加」に主眼を置いた「第2次おおい町未来創生戦略」の推進に取り組みます。

成果目標

合計特殊出生率:1.94(平成27年)→2.07(令和6年)

第1次おおい町未来創生戦略に基づく成果目標(5年間で180人の転入増あるいは転出抑制)に加え
子育てファミリー※1及びシニア世帯※2、各5世帯の転入増加あるいは転出抑制
(=5年間で30人の転入増加あるいは転出抑制)

※1…30歳代夫婦と就学前子ども2人を想定。 ※2…65歳以上の夫婦を想定。

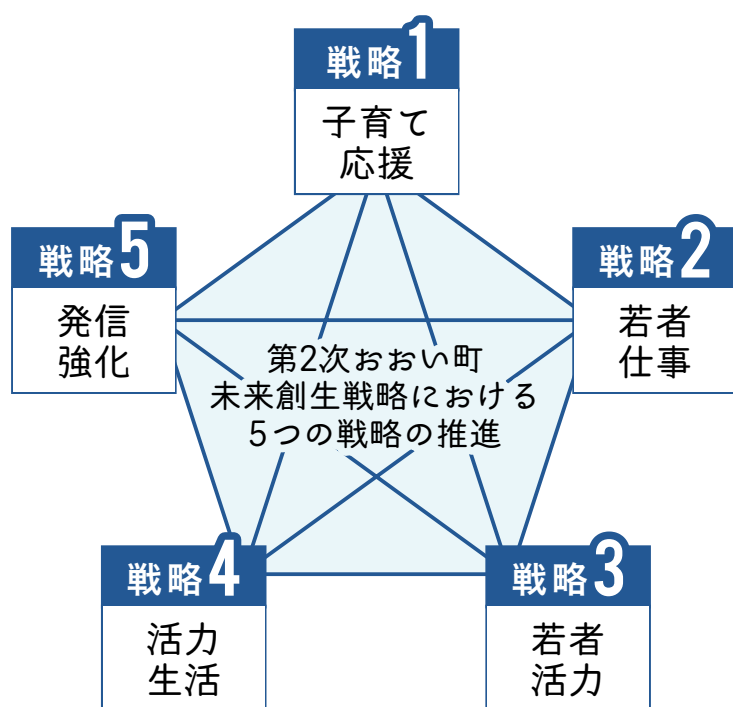
2 第2次おおい町未来創生戦略について

(1) 第2次おおい町未来創生戦略がめざす将来像と、戦略の全体像

本町の未来を育んでいくためには、未来の担い手となる若い世代とともに、様々な世代の活躍が欠かせないものとなります。将来にわたって「活力ある地域社会」を実現するため、本町で活躍する若者をさらに増やしていきながら、若い活力に共感できる「若い想い」を集め、町がいままで以上に活躍できる舞台となるよう、まちづくりを進めていきます。

将来像

“若さ”つなぐ “響き合う” 未来をつかむおおい町



5つの戦略の
好循環・波及効果・
相乗効果により
将来像を達成！！

※平成27年度策定の第1次戦略において、「戦略1」は「女性活躍」、「戦略5」は「広域連携」として取組を進めてきました。第2次戦略の策定にあたっては、「女性活躍」を「若者仕事」に統合・強化、「広域連携」は「活力生活」に統合し、新たに「戦略1」に「子育て応援」、「戦略5」に「発信強化」を位置付けました。

(2) SDGsを踏まえた施策の推進

平成27(2015)年の国連サミットで採択された国際社会全体の17の開発目標である持続可能な開発目標(SDGs)は、全ての関係者の役割を重視し、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指して、経済・社会・環境をめぐる広範な課題解決に総合的に取り組むものです。本戦略においても、取組の方向・主な事業等に対して、関連するSDGsの取組を位置付けることにより、施策を推進していくものとします。



(3)戦略の展開

戦略1

子育て応援

子育て家族を応援！ 地域の宝を育む戦略！

子どもはまちの未来を創造する担い手であるとともに、地域の宝です。そのことを念頭に置き、本町ならではの充実した子育て環境に磨きをかけながら、子どもとその家族、そしてそれを支える地域が輝けるような取組を展開します。加えて、本町の優れた子育て支援と、それを取り巻く住環境も含めた情報発信を行うとともに、気軽に相談できる体制づくりにも取り組みます。

重要業績
評価指標(KPI)

出生数⇒5年間で325人

子育て家庭※の転入世帯数⇒5年間で155世帯

(※18歳未満の子どもがいる世帯)

【取組の方向①】みんなで子育てを支え合い・応援する環境づくり

子育て世代包括支援センターを拠点に、妊婦や子育て中の母親に対して、心身のケアや育児サポートといったきめ細かな支援を行うとともに、マザーズカフェ等の交流の場づくりを進めるなど、地域コミュニティで子育てを支え合い、応援する環境に磨きをかけていきます。

さらに、おい町での子育てが前向きで豊かなものとなるよう、子育て世代にターゲットを絞った相談会やイベントを開催するとともに、本町の優れた子育て支援環境の積極的なPRを行います。

主な事業

☐妊産婦支援事業 ☐子育て世代に優しい町PR事業 等

関連する SDGsの取組



【取組の方向②】経済的な支援のさらなる充実

保育料の軽減及び第2子以降の保育料無料化や、高校生世代までの医療費助成、子育て世帯へのおむつ購入費の助成など、子育ての手助けとなる支援を幅広く進めます。さらに、高等学校等への通学支援から大学生の保護者への支援まで、広く経済的な支援を進めます。

主な事業

☐保育料負担軽減事業 ☐にこにこ赤ちゃん応援事業
☐子育て支援医療費助成事業 ☐妊婦等医療費助成事業
☐高等学校等通学費支援事業 ☐進学サポート事業 等

関連する SDGsの取組



【取組の方向③】不妊等の支援

不妊等で悩んでいる夫婦に対して、治療に要する経済的負担の軽減を図ります。

主な事業

☐不妊治療費助成事業 等

関連する SDGsの取組



若者に“しごと”を創り出す！ 雇用創出戦略！

本町の恵まれた地域資源を活用しながら、若者に的を絞った“しごと”の創出や産業振興を推進することにより、町の活力のさらなる向上を図ります。さらに、付加価値の高い農林水産物・加工販売物づくりの推進はもちろん、農林水産業就業者に対する手厚い支援を行い、都市部に売り込むことができる「価値」を創り出す若者を育成・応援します。同時に、町出身者及び町外在住の人を対象として、挑戦から事業継続に至るまでの総合的な環境整備・起業支援を行うことにより、新産業の創出を促します。加えて、多様な雇用対策等を行うなど、本町の産業がより活発なものとなるよう取り組みます。また、第5世代移動通信システム(5G)の動向を捉えた整備推進と活用の検討を進めます。

重要業績
評価指標(KPI)

事業展開による雇用の確保件数〔(基準値)累計19件(H30)]⇒累計40件

【取組の方向①】本町ならではの農林水産業の支援と活性化

新規就業者や移住者が自立した農林水産業を営めるよう、研修支援や住宅確保に係る支援等を進めるなど、本町での一次産業へ円滑に従事できるような支援に取り組みます。

また、農林水産業における経営基盤の整備及び強化を図るための支援を行うとともに生産性の向上を図るなど、付加価値の高い商品開発を推進します。加えて、販売ルートを広げるなど効率的で自立した、本町ならではの農林水産業の活性化に取り組みます。

主な事業

- 一次産業スタート支援事業 □「おい★さかな君」発掘・育成事業
□特産品開発・販売促進支援事業 等

関連する SDGsの取組



【取組の方向②】ワンストップ起業支援とブランド力の向上

起業に向けて意欲的に取り組んでいる町内外の人を対象として、起業に係る総合的な支援を行うとともに、チャレンジショップの整備及び運営を進めることにより、おい町での起業・創業の活発化を図るなど、町内における起業のきっかけづくりを行います。

さらに、うみんぴあ大飯における賑わい創出やブランド力の向上に向けたイベントを開催するなど、魅力創出・向上に向けた取組を進めます。

主な事業

- 起業促進支援事業 □チャレンジショップ整備事業
□道の駅うみんぴあ大飯賑わい創出・ブランド力推進事業 等

関連する SDGsの取組



【取組の方向③】本町の特性を活かした企業誘致

産業団地の造成を行うとともに、本町の特性を活かした企業誘致を進めます。

主な事業

- 産業団地造成事業 等

関連する SDGsの取組



戦略3

若者活力

「若さ」集結！ みなぎる活力創生戦略！

本町の未来創生のためには、新しい時代の流れを力にするとともに「若い想い」を集め、行動に移していくことが重要です。若年世代はもちろんのこと、日々感謝し、新鮮な気持ちで毎日を過ごしている「若い想い」を持った人を町内外問わず集め、本町との関係を創出・構築するとともに関係人口を増加させ、さらに交流を図っていく必要があります。そのため、フレッシュなアイデアの創造とともに、まちづくりに主体的に取り組むことができる仕組みづくりに努めます。さらに、学生や町出身者との積極的な交流を図るなど、本町の活力創生とともに、関係人口の増加に取り組みます。また、地域おこし協力隊が、継続的に町とかかわりを持ちながら活躍できるような環境づくりにも取り組みます。

重要業績 評価指標(KPI)

若者の提案によるまちづくり事業の実施数[(基準値)累計7事業(H30)]⇒累計16事業
協創で取り組むまちづくり活動団体数[(基準値)累計10団体(H30)]⇒累計15団体

【取組の方向①】多角的な若者視点による活力創生

まちづくりに興味がある若者と「若者まちづくり塾」を通じた協創を進めながら、政策コンテストの実施による若い学生アイデアを発掘します。また、地域おこし協力隊制度を積極的に活用し、地域産業の従事者に対する支援等を行いつつ、任期終了後の隊員が活躍できる場の確保に努めます。これらの「若い想い」を持つ様々な主体からの多角的な視点により、本町の活力創生を進めます。

主な事業

- ☐ おおい若者まちづくり塾開催事業
☐ まちづくり政策コンテスト開催事業 ☐ 地域おこし協力隊支援事業 等

関連する SDGsの取組



【取組の方向②】本町の特性を活かした体験・交流の充実

本町の特性を活かし、町民との交流を伴う体験の推進に取り組みながら、ふるさと意識を醸成し、移住・定住・交流の円滑化を図ります。また、スポーツ・教育合宿の推進と、その基盤整備を進めるとともに、若者の出会いと交流を応援すべく、取組の展開に努めます。

主な事業

- ☐ ふるさと体験事業 ☐ 一次産業体験事業
☐ スポーツ・教育合宿推進事業 ☐ 若者出会い交流応援事業 等

関連する SDGsの取組



【取組の方向③】特色ある地域づくりの推進

積極的かつ意欲的にまちづくりに取り組んでいる団体等の挑戦を応援し、団体及び集落の活性化を促進します。

主な事業

- ☐ まちづくり団体・集落ぐるみチャレンジ応援事業 等

関連する SDGsの取組



活力あふれる暮らしの創造！ 生活向上戦略！

本町が選ばれるまちであるため、移住希望者や住宅取得希望者の負担や不安の軽減に向けた取組を展開するなど、移住・定住の促進につなげ、本町の恵まれた自然環境での快適な住環境の整備・向上に努めます。さらに、近年増加する空き家問題にも積極的に取り組み、お試し移住をはじめとする空き家の利活用に向けた取組を行います。それに加えて、住民の健康寿命の延伸は、まちの活力にとって欠かせないものであること、また、「若さ」あふれる想いをつないでいくため、みんなが居場所と役割を持って活躍できる地域社会に向けた取組を展開します。さらに、地域の持続的な発展を目指した広域的な取組を推進します。

重要業績
評価指標 (KPI)

住宅取得等に係る助成件数〔(基準値)累計65件(H30)]⇒累計150件

健康寿命〔(基準値)男79.15歳、女84.66歳(H29)]⇒男79.20歳※、女85.10歳※ (※R4年値)

【取組の方向①】移住・定住の促進に向けたおおいの住まい支援

本町の空き家についての情報を、移住・定住希望者や住居を求めている人へ提供できるよう、情報バンクへの登録を促進します。加えて、町への移住・定住につなげられるよう、町内の空き家対策を積極的に推進します。

また、住宅取得等に係る費用の軽減や、住宅建設の基盤となる宅地を造成することにより、本町への移住を促進し、定住人口の確保と地域経済の活性化を図ります。

主な事業

- ☐ おおいの空き家は良い空き家! どんどん使って! 事業
☐ 住宅取得等支援事業 ☐ 宅地造成事業 等

関連する SDGsの取組



【取組の方向②】積極的な活動展開による「若さ」いきいき生活の実現

ウォーキング(おおいに歩こう! プロジェクト)の推進や疾病の予防、健康づくり支援に取り組みながら、公民館における生涯学習に関する取組を推進します。本町の誰もが「若さ」を持って、いきいきと本町で生活できるよう取組を進めます。

主な事業

- ☐ 健康づくり事業 ☐ 生涯学習推進事業 等

関連する SDGsの取組



【取組の方向③】情報通信基盤の整備充実

町内における公共施設のWi-Fi環境を整備するなど、情報通信基盤の整備により、観光客の利便性向上及び観光客の誘致とともに、生活環境の向上を図ります。

主な事業

- ☐ Wi-Fi環境整備事業 等

関連する SDGsの取組



<その他取組の方向> ●広域連携による取組

戦略5

発信強化

おおいの魅力と 情報発信強化戦略！

本町のあらゆる魅力をすくいあげ、ターゲットを絞った戦略的なPRに取り組みながら、さらに町のことを深く知ってもらえるような情報基盤の整備に取り組みます。さらに、本町への興味を来訪の意欲に高めながら、継続的な来訪につながる“しかけづくり”に取り組みます。

重要業績
評価指標(KPI)

観光客入込数〔(基準値)年間108万人(H30)]⇒年間145万人
おおいサポーター登録数 ⇒500人

【取組の方向①】戦略的プロモーションの推進と基盤整備

あらゆる媒体を活用し、様々な機会を捉えた情報発信とともに、先端技術も取り入れながら、ターゲットを絞った戦略的プロモーションの展開を進めます。さらに、観光ポスターやパンフレット、グッズによる町のPRによるおおい町のファンづくりとともに、出向宣伝等による町のPR、ホームページの充実に取り組むなど、本町へ興味を持つ人が来訪のきっかけをつかめるよう、取組の充実を図ります。

主な事業

☐おおい町戦略的PR事業 ☐観光情報PR事業
☐いきいきホームページ事業 等

関連する SDGsの取組



【取組の方向②】つながりや来訪者の創造に向けた“しかけづくり”

本町の魅力を自らが知り、その知り得たことの発信によりおおい町のイメージや認知度を高める「おおいサポーター」の登録推進と情報発信とともに、ふるさと納税のPRと推進に取り組むなど、本町とのつながりや来訪者の創造に向けた“しかけづくり”を進めます。

主な事業

☐おおいサポーター登録・情報発信事業 ☐ふるさと納税推進事業 等

関連する SDGsの取組



3 おわりに

「人口減少対策」、「地方創生」が声高に叫ばれる中、町の活力創出を目指した、おおい町未来創生戦略もいよいよ第2次に入ります。この第2次の戦略では、第1次の取組を踏まえながら、幅広く取組を進め、より一層強化していくこととしています。

本町の未来創生に欠かせない5つの戦略に取り組むにあたっては、住民、地域、団体、企業などの各主体との連携をより強化して取り組むことで、本町における少子化及び人口減少に歯止めがかかり、一層元気で活力あるおおい町の未来創生が果たせるものと考えます。

また、ここに掲げた取組に限らず、先進的な取組等については、適宜積極的に学び、さらに地域課題に対応させた形で応用し、各主体との対話とともに取り組んでいきますので、住民のみなさまの積極的な参画を、ぜひともよろしくお願いいたします。

第2次おおい町未来創生戦略【概要版】

策定年月:令和2年3月 発行年月:令和2年4月
発行:おおい町 まちづくり課

〒919-2111 福井県大飯郡おおい町本郷第136号1番地1
TEL:0770-77-4051(直通) FAX:0770-77-1289